



参加費
1000円
(要申込)

プログラムは裏面

日本アルコール関連問題学会
東海北陸地方会 石川大会

家族支援の 拡がり可能性

2020年5月30日(土) 13時~16時30分(受付12時30分~)

会場：石川県地場産業振興センター(金沢市鞍月2丁目1番地)
新館1階 コンベンションホール

お申し込み：入力フォーム(QRコードをご利用ください)からお申し込みください。
入力フォームが使えない場合は、件名を「東海北陸地方会」として、
お名前、ご所属、職種、電話番号をご記入の上、
メール al2020kanazawa@gmail.com または
FAX (076-241-5717) でお申し込みください。



【後援】石川県、石川県医師会、石川県保険医協会、日本精神科病院協会石川県支部、石川県精神神経科診療所協会、石川県神経科精神科医会、石川県看護協会、日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会中部北陸支部、石川県社会福祉士会、石川県精神保健福祉士会、石川県医療ソーシャルワーカー協会、石川県介護福祉士会、石川県ホームヘルパー協議会(以上申請予定)

アディクション領域では、問題を抱えた本人が相談場面に登場しにくいという特徴から、家族をファーストクライアントとしてとらえる視点とかかわりが重視されてきました。長年アディクション領域の支援者が育んできた家族支援の理念やスキルは、ほかの様々な領域においても活用ができると考えます。その可能性について地域での様々な課題に向き合う多くの援助職の皆さんとともに考えたいと思います。

【プログラム】

本大会は日本精神神経学会
ポイント取得対象学会です

12時30分 受付開始

13時00分 開会

東海北陸地方会会長挨拶 奥田宏（ひろメンタルクリニック）

13時05分 総論『今あらためて考える家族支援の大切さ』

司会 日野昌力（石川県立高松病院）

趣旨説明『なぜ家族支援が必要なのか』

橋本直子（福井県立大学准教授）

講義『支援者に必要な家族支援の知識とスキル』

吉田精次（藍里病院副院長）

14時40分 シンポジウム

コーディネーター 栃本真一（石川県立高松病院副院長）

◇当事者の立場から

家族の回復ステップ12 メンバー

◇石川県アルコール健康障害対策推進計画と家族支援の意義

寺西衣姫

（石川県健康福祉部障害保健福祉課担当課長）

◇家族相談の現場から見る現況

石川県こころの健康センター職員

◇家族支援の拡がり可能性

西念奈津江（岡部診療所）

ディスカッション

16時30分 閉会

吉田精次先生（藍里病院副院長）プロフィール

昭和56年、徳島大学医学部卒。平成13年からアルコール依存症治療を開始。刑務所における薬物離脱教育を6年間担当。平成19年からギャンブル依存症の治療も開始。現在は依存症全般を専門として治療にあたっている。依存症家族勉強会を13年前から院内で月2回開催。依存症問題に悩む家族のための強力な援助プログラムである『CRAFT（クラフト）』を全国的に広める活動を行っている。

アルコール問題の一次予防活動として小学校6年生から高校生を対象に、ダルクのメンバーと共に「アルコール・薬物乱用防止教育」の出前授業も行っているほか、自殺予防活動として地域で研究会を開催している。